Wonder Blender

WB-1

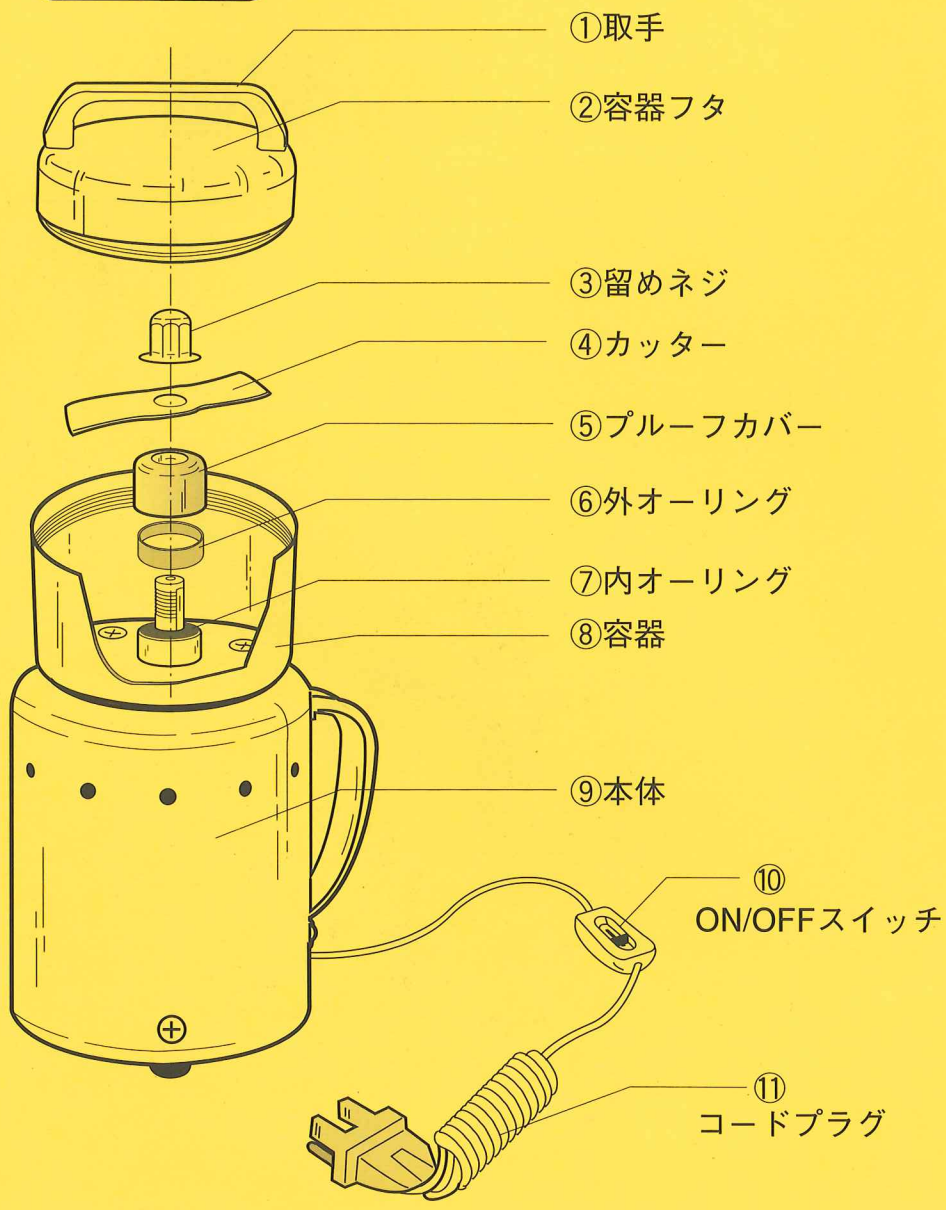
取扱説明書

OSAKA CHEMICAL CO.,LTD.

Wonder Blender

この度はワンダーブレンダー WB-1をご購入頂き、誠にありがとうございました。本機は実験、研究用の強力な高速粉砕機です。本機を正しく事故のないようお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さいますようお願いいたします。

WB-1 図-1 各部名称



Wonder Blender

WB-1 仕　様

電源	AC100V 50/60Hz
電気容量	700W
回転数	25,000rmp
容量	150mL
寸法	134φ×270mm
重量	3.6kg
付属品	微粉砕用フタ、クリーナブラシ

操　作

- 最初に、本体下部のコードの中ほどに付いています **入** と **切** のスイッチ⑩が **切** になって いるのを確認して下さい。
- 取っ手①を握って左に回して、容器フタ②を外して下さい。
- 容器⑧の中の留めネジ③がしっかり締まっているかを確認して下さい。
- 容器内のカッター④が指で回して、軽く回るのを確認して下さい。
- 容器によく乾燥した試料を入れて下さい。
  （試料は最大で150mLです。試料の長さの最長は2cm程度を目安にして下さい）
- 試料を入れ終わったら容器フタの矢印と容器の矢印どおしを合わせてフタを右回りいっぱいに締め付けて下さい。
- 電源コード⑪のプラグをAC100Vのコンセントに差し込んで下さい。
  （その際には必ずアースをお取り下さい）
- 次にON/OFFスイッチ⑩を **切** から **入** にスライドして下さい。この時、容器フタの取っ手を握ってしっかりと保持して下さい。
  （始動時には一度にパワーが発揮され、本体に多少ショックがかかりますので、しっかりと取っ手を保持して下さい）
- 殆どのものは30秒以内に粉砕出来ます。
- 作動が終わったらスイッチを **入** から **切** にスライドして下さい。そして必ずプラグをコンセントから外して下さい。

WB-1 図-2 部品名称

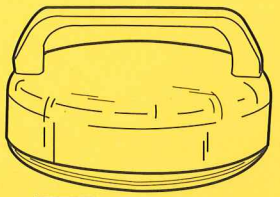


図-A 標準フタ

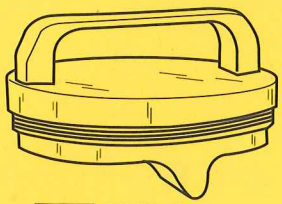
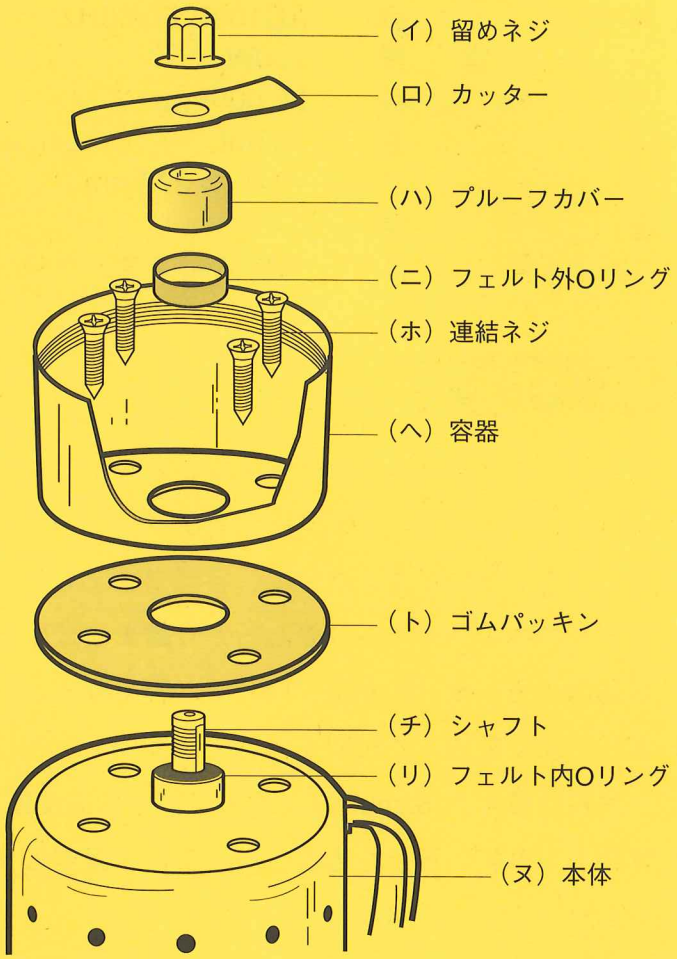


図-B 微粉砕フタ



ワンダーブレンダー　WB-1用　交換部品表

図	型　　番	品　　名	価　　格
A	PN-W02	標準フタ	¥20,000
B	PN-W03	微粉砕フタ	¥22,000
イ	PN-W51	留めネジ	¥2,000
ロ	PN-W04	標準カッター	¥3,500
	PN-W04N	真空焼入カッター	¥9,000
ハ	PN-W52	プルーフカバー	¥1,800
ニ リ	PN-W06	フェルトOリング（内外セット）	¥1,000
ホ	PN-W53	SUS連結ネジ（4ヶ）	¥1,000
ヘ	PN-W01	SUS容器	¥18,000

微粉砕フタの使用方法

- 本体セットとは別に付属しています微粉砕フタ（図-B）は下記の場合にご使用下さい。
  標準フタで粉砕したがもっと細かくしたい時（その場合、微粉砕フタが有効性を発揮するための容量「50mL以下」に調整して下さい。）
- 初めから粉砕試料が細かく、量「50mL以下」も少ない場合。
- 試料量が少なくても、一つの塊が大きいとき「1cm角以上」はまず標準フタで粉砕し、その後微粉砕フタをご使用下さい。

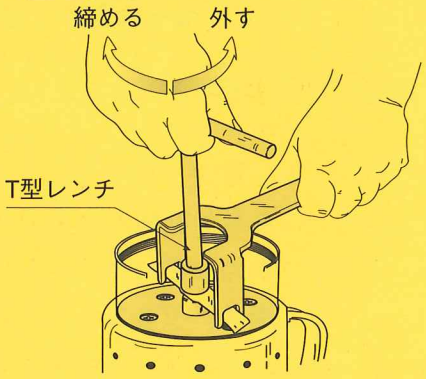
カッターの取り外し方

カッターストッパーの左右の溝をカッターにセットし、カッターを固定するように手で保持します（図-３）。次にT型レンチを留めネジにセットします（図-４）。そして、カッターストッパーを固定しながらT型レンチを左回し（逆時計回り）にして留めネジをはずします。留めネジをはずした後、カッターの両端を上に持ち上げてカッターを取り出してください。

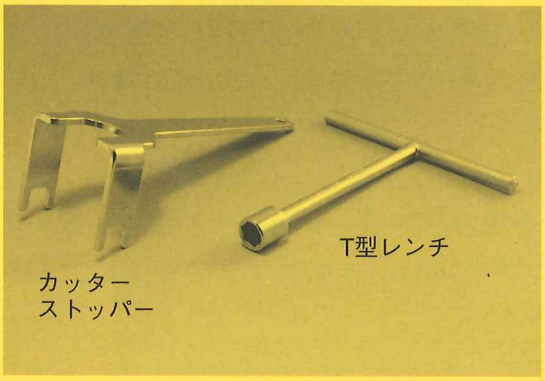
※（注）留めネジにはネジ締めが緩まないように接着剤が塗布されています。最初の取り外しは力がいりますが２度目からはスムースに取り外しが出来ます。

図-3

図-4



［オプション］
WB-1用 カッター脱着キット（UP-49）



●容器セットを掃浄する際、容器の中のカッターが障害物になり、残留物を奇麗に　取り出す事が困難ですが、カッターを外しておくとスムーズに掃浄が行えます。

●脱着キットを利用すると簡単にカッターを取り外すことが出来ます。カッター部にカッターストッパーをセットして、カッター留めネジにT型レンチを差し込み、レンチを回すだけ、カッターの脱着が簡単に出来ます。

型　番	品　名	価　格
UP-49	WB-1カッター脱着キット	¥6.000

容器の取外し方と洗浄方法

＜3ページ 図-2部品名称より＞

- カッターを外した後（カッターの取外し方参照）、プルーフカバー（ハ）を取り外します。
- 次に本体（ヌ）と容器（ヘ）を固定している連結ネジ（ホ）をプラスドライバーで全て外します。
- 本体と容器との間にゴムパッキン（ト）がついて密着していますのでマイナスドライバーのようなものを本体と容器の隙間に入れて外して下さい。
- 容器を外した後、本体は水や埃をかぶらないように保管して下さい。
- 取外した容器、カッター、連結ネジ、プルーフカバー、留めネジ、容器フタはぬるま湯の石鹸水で洗って下さい。その際内外フェルトOリングは新しいものとお取り替え下さい。
- 洗浄した部品はよく乾かせてご使用下さい。

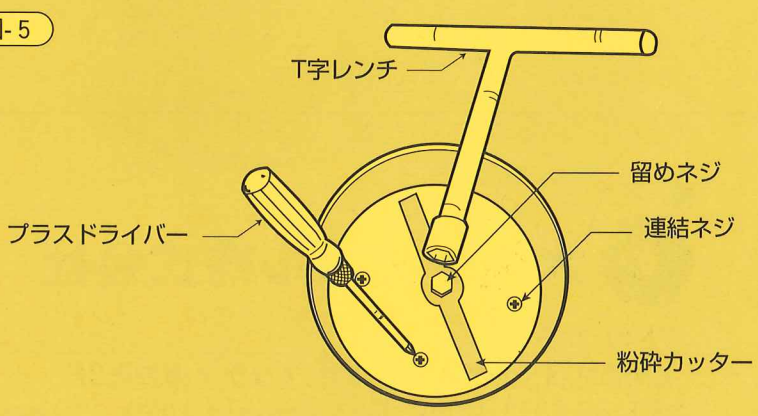
日常点検

●ご使用前に、下記の順に点検を行って下さい。

1. コンセントから電源プラグを必ず抜いて行って下さい。
2. 電源コードにキズ、断線などの異常がないのを確認して下さい。
3. 本体取手、フタの取手にゆるみがないかを確認して下さい。
   ゆるみがある場合、プラスドライバーでネジをしっかり締めて下さい。
4. ヒューズが切れていないかを確認して下さい。
   ヒューズが切れている場合、本体下部のヒューズボックスからヒューズを取り出し、ヒューズ（本器では10Aを使用）を交換して下さい。
5. 粉砕槽と下部モーター部連結ネジ（図-5）がゆるんでいないか確認して下さい。
   連結ネジがゆるんでいる場合はプラスドライバーでネジをしっかり締め付けて下さい。このネジがゆるんでいると摩擦が発生し、故障の原因となります。
6. 粉砕刃の留めネジ、および粉砕刃がゆるんでいないか確認して下さい。
   粉砕刃およびその留めネジがゆるんでいる場合（4ページ図-4）の様にカッターストッパーで刃を固定しながらT型レンチ（14mm）を留めネジにセットし、留めネジをしっかり右回りに締め付けて下さい。

7. 粉砕刃の角が摩耗して丸くなっていないか確認して下さい。
   粉砕刃にガタつきがあつたり、摩耗がある場合は粉砕刃を取替えて下さい。
8. 粉砕刃が手で軽く回転するか確認して下さい。
   重く感じる場合は、下記の点検を行って下さい。
   イ.Oリング部およびシャフト部に試料が付着していないかを確認し、付着している場合は粉砕刃を取り外し、ブラシできれいに掃除して下さい。
   ロ.上記5、モーター部連結ネジを再度きつく締めて下さい。
   ハ.イ、ロで点検したが、なお重い場合は、ベアリング不良ですので修理の為、購入店へ修理依頼をして下さい。
9. 容器のフタを締め、きちんと締まるか、またガタつきがないか確認して下さい。
   容器のフタはネジブタになっていますので適時ブラシ等でネジ部を掃除して下さい。
10. 電源を入れ数秒程度空転させて異常な音がしていないかを確認して下さい。
    その際には必ずネジブタをして下さい。
    異常な音がした時は、モーター部のベアリング不良ですので、購入店へ修理依頼をして下さい。
    ご使用後、必ずお手入れ下さい。
    （ハケ又は布等で試料をきれいに取り除いて下さい。ただし、水洗いは故障の原因となりますので決してしないで下さい。）
11. 定期的に粉砕カッターとパウダープルーフカバーをとりはずし、パウダープルーフカバーや外Oリング、内Oリングに付着している試料をブラシできれいに清掃して下さい。これを怠るとベアリングが故障する原因となります。

図-5



注意事項

1）容器ブタを開閉する場合は必ずコンセントから電源プラブを抜いて下さい。
2）コンセントに電源プラグを入れる前に、ON/OFFスイッチがOFF(切)になっているのを確認して下さい。その際には、必ずアースをお取り下さい。
3）本器は完全に乾燥物専用粉砕器です。粉砕対象物がよく乾燥されたものを粉砕して下さい。粉砕時に水分が湧出るような試料は粉砕しないで下さい。
4）通常殆どの試料は１分以内で細かく粉砕できます。もっと細かくしたい場合は2分までの連続運転が可能ですが、２分以上の連続運転はお避け下さい。
5）断続して多回数運転する場合、粉砕容器の冷えるのを待ってご利用下さい。
6）粉砕物が粉砕するのに充分な空間を与える為に試料は容器の2分の1迄の容量にして下さい。（微粉砕フタ使用の場合は50mL迄で運転して下さい。）
7）水気のある試料の粉砕槽への試料の入れすぎは通電しているにもかかわらず粉砕カッターが止まったりモーターの回転が止まったりする原因になります。この時にはフューズやモーターの焼尽きを防ぐ為、すぐにスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて下さい。
8）通電後モーターが回転しない事がわかったら、正しく作動するかどうか見る為にフューズ、スイッチやプラグをチェックして下さい。（その際には必ずプラグをコンセントから外して行って下さい。）
9）容器を本体にセットした状態で容器を水洗いすることは絶対お避け下さい。

◎上記の注意事項を怠ったりしますと、事故につながったり、満足な試料作成が出来ない場合がありますので、必ず守ってくださいますようお願い申し上げます。

輸入発売元
大阪ケミカル株式会社
〒530-0045
大阪市北区天神西町5番17号 アクティ南森町2F
TEL 06-6311-1050　FAX 06-6311-1070
E-mail: info@daichem.co.jp
http://www.daichem.co.jp